

# 一般社団法人日本顎関節学会 平成 29 年度事業報告書

## I. 目的（定款第 3 条）

本法人は、会員相互並びに国内外の関連団体との交流を深め、顎関節学に関する基礎的及び臨床的研究、教育及び診療についての会員の能力向上を図るとともに、それにより地域社会における口腔の健康の維持と向上に貢献し、もって国民の健康と福祉の増進に寄与することを会員共通の目的として、次の事業を行った。

- (1) 学術大会の開催に関する事業
- (2) 研究発表会、講演会、講習会及び教育研修会などの開催
- (3) 機関誌、及びその他の出版物の刊行
- (4) 顎関節疾患、特に顎関節症の治療に関する専門医等の各種資格認定事業
- (5) 顎関節疾患、特に顎関節症の治療に関する研修機関等および研修制度の整備
- (6) 顎関節に関する研究者並びに医療・保健・福祉事業者の教育及び育成事業
- (7) 顎関節疾患に関する調査並びに合同研究
- (8) 国内外の顎関節治療関連団体との連携及び交流
- (9) 顎関節疾患に関する医療・保健・福祉情報の発信並びに啓発事業
- (10) 研究の奨励及び助成並びに研究業績の表彰
- (11) その他本法人の目的を達成するために必要な事業

## II. 学術大会の開催に関する事業（定款第 3 条 1 項）

### 1. 第 30 回学術大会

- 1) 会期：2017 年 7 月 29 日（土）～30 日（日）
- 2) 会場：ワークピア横浜
- 3) 大会長：小林 馨（鶴見大学歯学部口腔顎顔面放射線・画像診断学講座 教授）
- 4) 共催：第 22 回一般社団法人日本口腔顔面痛学会学術大会
- 5) 参加者：総計 912 名
  1. 事前参加登録者 620 名
  2. 当日参加登録者 284 名
  3. 名誉会員 8 名
- 6) 総演題数：103 演題  
シンポジウム 5 題、教育講演 6 題、イブニングセミナー 1 題、  
学術奨励賞受賞講演 1 題、一般口演 66 演題、ポスター 65 演題

### ●メインシンポジウム（TMJ）

「特発性下顎頭吸収を含む開咬の診断と治療」

座長：山田一尋、依田哲也

1. 特発性下顎頭吸収に対する補綴的対応（小川 匠）
2. 変形性顎関節症の経過（小林 馨）
3. 特発性下顎頭吸収の診断（田中栄二）
4. 下顎頭吸収による骨格性 II 級症例に対する顎矯正手術（濱田良樹）
5. Idiopathic condylar resorption : New method of staging and approach to treatment (Chi Yang)

### ●合同シンポジウム

「運動器疼痛の治療法としての運動療法」

座長：佐々木啓一、高野直久

- ・イントロダクション：オーラルフレイルにおける運動器疼痛治療の意義（高野直久）
- ・基調講演：運動器疼痛の治療法としての運動療法（矢吹省司）

指定発言：島田淳、大久保昌和

●日本顎関節学会 30 周年記念シンポジウム (TMJ)

座長：古谷野 潔、小林 馨

1. 日本顎関節学会の 30 年を振り返って (古谷野潔)
2. 顎関節研究会発足と顎関節症症型分類の成立 (田口 望)
3. 顎関節症の基礎と臨床の時代—外科的治療を中心に (柴田考典)
4. 関節円板整位療法 (矢谷博文)
5. パンピング・マニピュレーションの開発と関節鏡の普及 (村上賢一郎)
6. 顎関節画像検査法の進歩と普及 (小林 馨)
7. 顎関節症の自然経過への取り組み (栗田賢一)
8. 日本顎関節学会の法人化への歩み (覚道健治)

●シンポジウム 顎関節手術

「顎関節手術セミナーとエキスパートセミナー」

座長：近藤壽郎、村上賢一郎

1. 最近の顎関節外科の世界的動向とトピックス Current topics and trend of TMJ surgery (村上賢一郎)
2. 顎関節外科に必要な解剖学) 近藤壽郎)
3. Modified temporomandibular joint disc repositioning with miniscrew anchor (Chi Yang)

●平成 28 年度学会賞学術奨励賞受賞講演 (TMJ)

座長：佐々木啓一

「急性非復位性関節円板前方転位に対する関節円板復位療法の適応に関する臨床的検討」  
(中川 聡)

●イブニングセミナー

「顎関節症と関連する頭痛の診断と管理」

座長：和気裕之、佐藤文明

1. DC/TMD から考える頭痛に対する歯科医師の役割：  
「顎関節症による頭痛 (DC/TMD)」を正しく診断するために (井川雅子)
2. 開業医における顎関節症・頭痛への対応 (島田 淳)
3. 顎関節症の臨床で必要な頭痛と脳疾患の知識 (牧山康秀)

●教養講演 1

「横浜における近代歯科の歴史」(大野肅英)

●教養講演 2

「顎関節脱臼徒手整復法の歴史」(杉崎正志)

●教養講演 3

「関節円板後部組織の構造」(木野孔司)

●教養講演 4

「顎関節下顎窩における咬合・咀嚼負荷の様相」(覚道健治)

●教養講演 5

「CBCT で顎関節を読む」(本田和也)

●教養講演 6

「パノラマ 4 分割法による変形性顎関節症の診断」(五十嵐千浪)

●教養講演 7

「スプリントの作り方・使い方」(鱒見進一)

### Ⅲ. 研究発表会、講演会、講習会及び教育研修会などの開催（定款第3条2項）

#### 1. 第42回学術講演会

開催日：2017年10月8日（日）

会場：大阪歯科大学天満橋学舎 創立100周年記念館4階大講義室

講師、講演内容：

##### 【咬合、顎位の変化と顎関節-下顎頭の吸収と変形性顎関節症を中心に-】

パート1：顎関節に関連する病態と下顎位、咬合の関係

講師：小見山 道（日本大学松戸歯学部 教授）

パート2：顎関節の解剖と画像診断による下顎頭の吸収

講師：五十嵐千浪（鶴見大学口腔顎顔面放射線・画像診断学講座 講師）

パート3：下顎頭吸収への補綴歯科的対応

講師：窪木拓男（岡山大学大学院歯学研究院 教授）

パート4：下顎頭吸収への矯正歯科的対応

講師：田中栄二（徳島大学大学院医歯薬学研究部 教授）

パート5：特発性下顎骨吸収への外科的対応

講師：高橋 哲（東北大学大学院歯学研究院 教授）

参加者数：102名（会員93名、非会員9名）

#### 2. 第43回学術講演会

開催日：2018年2月11日（日）

会場：日本大学歯学部2号館1階・研修医講堂

講師、講演内容：

##### 【顎関節症治療に必要な心身医学・精神医学の知識アップデート】

パート1：顎関節症に併存する精神疾患とDC/TMDのⅡ軸

講師：小見山 道（日本大学松戸歯学部 教授）

パート2：なぜ歯科医師に精神科の知識が必要か？

講師：宮地英雄（北里大学医学部精神科学 専任講師）

パート3：顎関節症患者の心身医学的対応-開業医の立場から

講師：島田 淳（医療法人社団グリーンデンタルクリニック理事長・神奈川歯科大学）

パート4：顎関節症患者と咬合違和感患者の心身医学的対応-大学病院の立場から

講師：玉置勝司（神奈川歯科大学全身歯学講座顎咬合機能回復補綴医学分野教授）

パート5：“いわゆる歯科心身症患者”にどう対応するか-リエゾン診療の立場から

講師：和気裕之（みどり小児歯科院長・日本大学松戸歯学部）

パート6：症例提示とディスカッション

講師：和気裕之、宮地英雄

参加者数：94名（会員76名、非会員5名、歯科衛生士13名）

#### 3. 第44回学術講演会

開催日：2018年5月20日（日）

会場：岡山大学津島キャンパス 50周年記念館

講師、講演内容：

##### 【顎関節症インタラクティブコース】

パート1：顎関節症の病態分類と診断基準（レクチャー）

窪木拓男（岡山大学大学院歯学研究院 教授）

パート2：顎関節症の画像診断（ハンズオン：MR像トレース実習含む）

講師：五十嵐千浪（鶴見大学口腔顎顔面放射線・画像診断学講座 准教授）

パート3：顎関節症の診察・検査（ハンズオン：開口量測定と筋触診実習を含む）

講師：小見山 道（日本大学松戸歯学部 教授）

パート4：顎関節症の症例提示と解説（ケースベースのハンズオン）

講師：築山能大（九州大学大学院歯学研究院 教授）

パート5：顎関節症の各病態に対する（標準的）治療（レクチャー）

講師：松香芳三（徳島大学大学院歯学研究部 教授）

参加者数：77名（会員40名、非会員32名、研修医4名、歯科衛生士1名）

#### IV. 機関誌、及びその他の出版物の刊行（定款第3条3項）

日本顎関節学会雑誌：4回発行（うち1回は大会抄録集）

第29巻特別号（2017年6月発行）

第29巻2号（2017年8月発行）

第29巻3号（2018年1月発行）

第30巻1号（2018年4月発行）

#### V. 顎関節疾患、特に顎関節症の治療に関する専門医等の各種資格認定事業 （定款第3条4項）

##### 【新規認定】

##### ＜専門医および指導医＞

平成29年指導医、専門医試験を実施。

2017年11月26日（日）東京駅八重洲倶楽部第7会議室

11：00～12：00＝記述試験、13：20～14：40＝口頭試問

指導医3名、専門医5名を新たに認定。

##### ＜新認定医＞

##### ●ポスタープレゼンテーション審査

実施日：2017年7月29日（土） 会場：ワークピア横浜

受審者9名中6名を合格、2名を条件付合格、1名を不合格と判定した。

##### ●講習会・筆記試験を2018年2月12日に実施。

会場：日本大学歯学部研修医講堂

##### 講習会内容

臨床解剖 講師：下田信治（鶴見大学歯学部 教授）

画像診断 講師：小林 馨（鶴見大学歯学部 教授）

DC-TMD 講師：古谷野 潔（九州大学大学院歯学研究院 教授）

スプリント 講師：鱒見進一（九州歯科大学歯学部 教授）

制度説明 講師：田中栄二（徳島大学大学院医歯薬学研究部 教授）

##### 筆記試験

最終的に受験者21名中21名を合格と判定。

（ポスタープレゼンテーション審査に申請・合格すれば、本資格取得となる。）

##### ＜研修機関＞

新規に、研修施設9施設、関連研修施設3施設、研修補助施設を承認した。

## 【更新認定】

2017年12月31日が認定期限となる方々の資格更新審査を実施。

### <対象者および結果>

- 専門医：31名中24名が更新、4名は保留、3名は未申請。
- 専門医+指導医（2資格）：8名中5名が更新、3名が未申請。
- 研修施設：6施設中4施設が更新、2施設が未申請。
- 関連研修施設：1施設中1施設が更新。

## VII. 顎関節に関する研究者並びに医療・保健・福祉事業者の教育及び育成事業

(定款第3条6項)

## VIII. 顎関節疾患に関する調査並びに合同研究（定款第3条7項）

- 要介護高齢者における顎関節脱臼の実態調査

## IX. 国内外の顎関節治療関連団体との連携及び交流（定款第3条8項）

- 第5回アジア顎関節学会のご案内（第2報）  
大会テーマ：顎関節症/疾患の現況と将来  
会場：St. Mary's Hospital（ソウル）、メインビル  
会期：2017年10月14-15日（土、日）
  - ・参加者は約200名（日本から20名余り）
  - ・講演7題（日本から1題）、ポスター演題21題（日本から8題）

## X. 顎関節疾患に関する医療・保健・福祉情報の発信並びに啓発事業（定款第3条9項）

- 学術大会の運営
- 各都道府県歯科医師会への「新顎関節症の病態分類」の学術講演に関する本学会からの講師派遣依頼等。  
青森県歯科医師会（7/22）、全国歯科大学歯学部同窓会（福岡）（8/22）。

## XI. 研究の奨励及び助成並びに研究業績の表彰（定款第3条10項）

- 平成29年度学会賞特別賞  
覚道健治（大阪歯科大学名誉教授）
- 平成29年度学会賞学術奨励賞  
受賞候補者名：山口賀大（医療法人 田口歯科医院）  
  
受賞論文名：顎関節症に対する運動療法の短期的効果—非復位性関節円板前方転位に対する予備的検討—  
（日本顎関節学会雑誌第28巻第2号掲載）

## XII. その他本法人の目的を達成するために必要な事業（定款第3条11項）